

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 芦安小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒400-0242
山梨県南アルプス市芦安安通355

E-mail ashiyasu.es@m-alps.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子13名 女子14名 合計27名
児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容。

南アルプス市の身近な自然を生かした体験的学習を通して、人間の暮らしと環境・動植物と環境についての理解を深め、人間の活動と自然環境の問題に目を向け、自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える基礎を育成することをねらいとし、1年間を通して、全学年の発達段階に応じた活動を行った。

① 自然体験活動 1 「全校自然教室」 1年生から6年生

- 1 日時 平成27年5月15日(金) 9:35から11:30
- 2 活動場所 芦安小学校周辺の森林
- 3 目的 自然体験活動を通して、郷土芦安ならびに南アルプスについて再認識し、1,2年生の地域学習 3,4年生の夜叉神登山, 5,6年生の自然体験活動の事前学習として、もっと知りたい、調べたいという自然学習への意欲を高める。
- 4 内容 芦安小学校周辺のフィールドワーク 「芦安樹木探偵団」
今回のテーマ「山のたからもの」
工作 小枝やススキを使ったタペストリー



今回は学校近くの山に入り、山の宝物をたくさん採ったり拾ってきたりした。その中で人間は昔からカヤ科の植物をいろいろなことに利用してきたことを話していただき、人間の自然を生かした知恵を感じることができた。

学校にもどって、自分の山の宝物を使って、タペストリーを作った。木の枝やススキとヒモを使って「編む」という作業を体験した。ヒモへの編みこみは大変だったが、とても楽しく活動できた。

② 夜叉神登山 3, 4 学年児童

1 目的

- ・登山等, 野外活動を通して, 豊かな自然を体感する。
- ・登山等, 野外活動を通して郷土芦安について再認識し, もっと知りたい, 調べたいという意欲を高める。
- ・集団行動における約束や公共のマナーを身につける。
- ・学年を超えた集団での活動を通し, 感動する心や思いやりの心・協力する心・自律心を育てる。
- ・自然の大きさを感じ, 自然と自分の関係について考える基礎的な感性を養う。
- ・「南アルプス自然体験推進事業」の目的を意識させて活動する。

2 目的地 夜叉神峠

3 実施日 平成27年5月22日(金) 予備日 29日(金)

良い天気に恵まれ, 今年も夜叉神登山を実施することができた。

木に聴診器を当てると水の流れる音がすることで, 子どもたちは木も生きていることを実感したり, 立ち枯れしてしまっている木は水を吸い上げることがなく, このまま朽ちていくが, それを養分として菌類が生きているなどの自然の不思議やつながりを知ることができた。また, つらくてもがんばって登った後には, 雄大な景色が見られるという, 大きな喜びを感じた一日であった。



③ 栗沢山登山 5, 6 学年児童

1 目的

- ・ふるさとの山を愛する気持ちを育て、登山の楽しさを知る。
- ・ユネスコエコパーク内でのマナーを知り、その実践力を身につける。
- ・集団行動の中で、お互いを一層理解し、友情を深める。

2 目的地 栗沢山

3 実施日 平成27年7月15日(水)～7月16日(木)

4 内容

【1日目】栗沢山登山及び、山小屋(長衛小屋)での宿泊。

【2日目】広河原での自然散策(荒天のため中止)

隔年で【A】楡形山トレッキングコース登山と、【B】栗沢山登山を継続的に行っている。子どもたちは、ユネスコエコパークに位置する雄大な自然を体全体で感じ、移り変わる景色に何度も歓声を上げていた。登山をしなければ得られない達成感や充実感を十分に味わうことができた。また、ユネスコエコパーク内における自然を保全する気持ちを育てることもできた。



④全校自然教室（全校児童）

- 1 日時 平成27年9月26日（金）
- 2 活動場所 芦安小学校周辺の森林
- 3 目的 自然体験活動を通して、郷土芦安ならびに南アルプスについて再認識し、1, 2年生の地域学習 3, 4年生の夜叉神登山, 5, 6年生の自然体験活動の事前学習として、もっと知りたい、調べたいという自然学習への意欲を高める。
- 4 内容 芦安小学校周辺のフィールドワーク 「芦安樹木探偵団」
今回のテーマ「山のたからもの・きのこ」



今回は山に入りいろいろなキノコを見つけた。いじめじめしたところや日があまり当たらないところにたくさん生えていた。また、かさのない菌類もたくさんあり、形、色等種類が豊富で、子どもたちはとても興味をもった。キノコ図鑑ではわからないものもあった。

⑤学校林整備活動（5, 6年生児童・PTA）



本校では、保護者の協力を得て、学校林の整備活動を行い、学校林の一部を自然林に再生させている。子どもたちは、獣害にあい植樹した木々が育たないということから、どのように森を再生していくかを考え、経年で観察を行っている。

⑥BE OPEN プロジェクト

- 1 目的 次世代を担う子供たちに、新しい世界との出会いとコミュニケーションの楽しさを伝え、オープンマインドをもったグローバル人材を育成すること。
- 2 活動場所 芦安中学校多目的ホール
- 3 実施日 平成28年2月22日(月)
- 4 内容 芦安小中学校や芦安地区の文化・史跡について、調べたことや伝えたいことをオールイングリッシュでプレゼンテーションしました。スカイプを通じ、日本語を学ぶオーストラリアの学生、アメリカに住む日本人留学生と相互に発表をし、感想・意見交流を行いました。準備段階から小学校6年生と中学生合同で授業を行い、小中連携の面でも非常に意義深い活動となった。



自分たちや身の回りのことについて、オールイングリッシュで外国人にプレゼンテーションする機会を得られたことは非常に有意義であった。日本語を学ぶオーストラリアの学生のプレゼンテーションを聞き、「自分たちの英語もこのように聞こえるのか。」と客観的にとらえ、「聞き取りづらかったが、一生懸命自分たちの言語を学んでいる姿をみてうれしかった。」という前向きな感想も得られた。目的であるオープンマインドをもったグローバルな人材の育成に向けて、大きな一歩が踏み出せた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）